

よけいじ 上寺山餘慶寺と豊原北島神社の歴史と文化財を紹介

1月5日(金)から2月4日(日)まで、岡山県立博物館で「上寺山餘慶寺と豊原北島神社―備前南部の文化財―」のテーマで企画展が開催されます。

千二百年以上の歴史を持つ豊原北島神社と餘慶寺がある上寺山(瀬戸内市邑久町北島)には、餘慶寺本堂(国指定重要文化財)をはじめ、合計11件もの国・県・市の指定重要文化財があります。

この企画展は、県内でも有数の文化財を伝える上寺山にスポットを当てて紹介するものです。岡山県でも著名な仏像といわれる薬師如来坐像や、当時の完全な姿を残していることで知られる色々威甲冑などの重



色々威甲冑

要文化財も展示されます。色々威甲冑は、源平藤戸(倉敷市藤戸付近)の合戦で活躍した源氏方の武将・佐々木盛綱が奉納したものと伝えられています。浅葱色(水色)や蘇芳色(赤紫色)などの紐を使った大変美しいもので、江戸時代の老中松平定信が全国の名品を集めて編集した『集古十種』にも紹介されました。また今度の企画展開催に先立って、県立博物館の学芸員による神社・寺院各院



寒山拾得図

の文化財調査があらためて詳しく行われました。その結果、これまで紹介されていなかった貴重な文化財がいくつも再発見されました。その中から一点面白い絵画を紹介します。タイトルは「寒山拾得図」といって、中国の伝説的な僧侶である寒山と拾得を描いたものです。この絵の作者は、鴨方村(現浅口市)出身の田中索我(1742-1814)という江戸時代の画家です。巻紙を持つている寒山は、岩窟にこもって詩を書きました。寒山に寄り添う拾得

は、寺の掃除や賄いをして残飯を寒山のところに運んだといわれます。二人は終生無垢な童心を失わず、煩わしい俗世を嫌って天台山に住んだといわれます。欲得や物事へのこだわりを持たない、子どものような姿が印象的です。寒山・拾得は、禅僧に好まれて水墨画などによく描かれました。欲を離れた心境に憧れたのは現代のわたしたちだけではなかったようです。どうしたらこの絵のような表情になれるのでしょうか。そんなことを感じさせてくれる作品だと思います。

■問い合わせ先
岡山県立博物館
086-272-1149

ジャンプ

ステップ

ホップ

このコーナーは、生涯学習に生き生きと取り組む皆さんを紹介し、皆さんも仲間入りしませんか。

茶の湯のこころを楽しむ

「おきがる茶道」

日本の伝統文化である茶の湯は、おいしいお茶を主が客に真心でもてなし、客は感謝してお茶をいただく、主と客の間に心のかよいを深めていく道です。おいしいお茶は、味覚だけでなく、道具類の趣向やお花や掛け軸などで季節や歳時を感じる



美しい所作でおもてなし

こと、主のふるまいの美しさなど、すべてがもたらす味わいといえます。おきがる茶道の皆さんは、備前御家流のお点前を和氣あいあいといけいこし、日本女性としての美しい所作と

おもてなしの心を学んでいきます。あなたも、茶の湯のころと美に触れ、ほんの一時、茶杓からそそぎ落ちる静かで清い音に、一緒に耳を傾けてみませんか。見学は自由です。

- ★活動日時 11月1・3土曜日 午後1時～5時 11月1・2水曜日 午後5時30分～6時30分
- ★活動場所 長船町公民館
- ★会費 月500円
- ★代表 蟻正瑠美さん
- ☎086-943-5745

礼儀正しく

「邑久剣道スポーツ少年団」

邑久小学校 体育館で大きな掛け声を響かせ、剣道のけいこに精を出す邑久剣道スポーツ少年団の皆さん。小学校2年生から高校生までの団員31人は、毎月、低学年の目標を決め、足さばき・素振り・基本げいこなど基本を中心とした練習に励みます。団のモットーは「礼儀正しく」。「あいさつに始まり、靴の置き方、掃除まで道場だけでなく、学校、家庭、どこでも礼儀が大切」と指導者の岡吉伸さんは話します。また同団は、今年で結団30周年。これを記念し、



結団30周年を迎えた邑久剣道スポーツ少年団の皆さん

剣道を通じて近隣の少年団と交流を図ろうと、「邑久剣道スポーツ少年団結団30周年記念錬成大会」が2月4日(日)に開かれます。「みんな目標を決めて練習しています。錬成大会で絶対勝りたい」とキャプテンの吉田旺史君(12歳・邑久町下笠加)。錬成大会に向け、みんな気合十分です。ただ今、団員募集中。皆さんも一緒に剣道をしてみませんか。

- ★活動日時 11月・木曜日 午後7時～8時30分
- ★活動場所 邑久小学校体育館
- ★会費 月1,500円
- ★連絡先 佐藤雅子さん
- ☎0869-22-1146



おきがる茶道の皆さん



錬成大会に向けて気合が入ります